

地球温暖化対策推進計画の「重点プログラム」について

推進計画の「中期的取組み」を効果的かつ着実に推進するために、今後4年間に重点的に取り組む「重点プログラム」を設定するとともに、東日本大震災を契機として、「省エネ運動」と「創エネ運動」を加速させていくため、「最重点施策」を位置付け、県民総ぐるみで展開する。また、「重点プログラム」については進化する行動計画とし、毎年度見直しを行う。

1 最重点施策の設定

最重点施策（「重点プログラム」の中から20項目を抽出）

（1）ライフスタイルの転換を加速

- ①とくしま環境県民会議を核に県民総ぐるみで環境活動を展開
- ②徳島モデルの「サマータイム」を普及し、省エネ社会を実現
- ③節電意識を高める「電力エコとく大作戦」を県民運動で展開
- ④「徳島夏・冬のエコスタイル」を普及し、県民生活のエコ化を推進
- ⑤買い物行動の省資源化を図るため、「マイバッグ運動」を全県展開
- ⑥「エコみらいハウス」を設置し、ソーラー、LED、リチウムイオン電池等の「見える化」を推進
- ⑦学校施設の屋上緑化やLED照明の活用など「エコスクール化」を推進
- ⑧家庭や事業所、街灯などのあらゆる照明のLED化を図り、省エネ社会を実現
- ⑨徳島ならではのエコ通勤戦略を積極的に推進
- ⑩電気自動車やプラグイン・ハイブリッド車等の次世代自動車の普及拡大

（2）再生可能エネルギーへ果敢に挑戦

- ①未利用地などを活用した「メガソーラー」の導入を推進
- ②太陽光など再生可能エネルギーを活用した災害拠点モデル施設の整備
- ③家庭や事業所において太陽光発電等を積極的に導入し、電力需給率を向上
- ④利用可能量調査に基づく再生可能エネルギーの開拓
- ⑤地域資源を活用した小水力発電施設の導入・実用化
- ⑥地域の小水力や風力等の再生可能エネルギーに先導的に取り組む市町村を支援
- ⑦バイオマスエネルギーなどを活用し、石油依存度の低減を図る「脱石油」産地づくりを促進
- ⑧再生可能エネルギーを活用した地域再生のための研究拠点の設置
- ⑨電力需給バランスを調整する次世代配電網（スマートグリッド）の導入に向けた研究
- ⑩「次世代エネルギー活用促進研究会」を設置し、リチウムイオン電池を活用した応用製品の開発



2 重点プログラム

「中期的取組み」を効果的かつ着実に推進するため、今後4年間において特に重点的に取り組むべき、5つの「重点プログラム」を設定する。

重点プログラム（70項目）

- （1）省エネ・省資源推進プログラム「みんなで築く省エネ社会の実現」など3分野（20項目）
- （2）エネルギーの地産地消プログラム「創エネルギー社会の構築」など3分野（21項目）
- （3）エコ通勤・エコカー普及プログラム「自転車等エコ通勤で快適エコライフ」など2分野（13項目）
- （4）緑化・オフセットプログラム「低炭素社会に向けた森づくりと緑化を推進」など2分野（6項目）
- （5）環境活動・環境学習推進プログラム「県民総ぐるみで環境活動を展開」など2分野（10項目）